

文学作品のテーマを考える

英語教育講座 小林資忠

1. 授業内容

この授業は平成 21 年度前学期に英語教育専修 3 回生に開講された科目であり、受講生は国語教育専修 3 回生 2 名であった。例年、この授業には、英語教育専修の学生以外に心理、教育、社会、理科、技術、体育などを専修にしている学生の参加が多いのであるが、本年は時間割の関係からか、国語教育専修の学生が 2 名だけであった。受講生が少なかったため、毎回の授業では中身の濃い議論ができ、作品の理解も大いに進んだように思える。授業の目的は 20 世紀の主要なアメリカ作家の短編を精読することによって、英語の読解力を高め、それぞれの作品のテーマや問題点を考察することにある。

また今回は授業公開を 6 月 11 日（木）2 時限に英語演習室で行い、池野先生、ボグダン先生に参観していただいたのは有難いことであった。ボグダン先生からは貴重なご意見もいただいた。

2. 授業改善のためのアンケート

受講者へのアンケートは次の（1）～（6）について実施した。後ろの（ ）の中に人数を示す。2 名からの回答があった。

- （1） 授業時間外の学習に取り組んでいるか。
- | | |
|--------------|-----|
| よく取り組んでいる | （1） |
| まあ取り組んでいる | （1） |
| あまり取り組んでいない | （0） |
| まったく取り組んでいない | （0） |

- （2） 教員の話し方や説明は理解しやすいですか。
- | | |
|-----------|-----|
| 非常に分かりやすい | （2） |
| まあまあ分かる | （0） |
| 分かりにくい | （0） |
| まったく分からない | （0） |

- （3） 授業の目的を理解できたか。
- | | |
|--------------|-----|
| よく理解できた | （2） |
| まあ理解できた | （0） |
| あまり理解できなかった | （0） |
| まったく理解できなかった | （0） |

- （4） 質問の機会を与えられているか。
- | | |
|-------------|-----|
| 十分与えられている | （2） |
| 与えられている | （0） |
| あまり与えられていない | （0） |
| 与えられていない | （0） |

- （5） 授業のレベルは適切か。
- | | |
|------------|-----|
| とても適切だ | （1） |
| まあ適切だ | （1） |
| あまり適切ではない | （0） |
| まったく適切ではない | （0） |

- （6） 授業の改善点など自由に記入してください。
- （6）についての意見はなかったが、アメリカ文学を英語で読めたことにメリットがあったようだ。

